

統計とっとり

平成21年3月
第 98 号
鳥取県企画部統計課
TEL 0857-26-7103
FAX 0857-23-5033

統計課ホームページアドレス <http://www.pref.tottori.lg.jp/toikei>



平成20年度

統計功労者表彰式・統計セミナー

平成20年度統計功労者表彰及び統計セミナーを、鳥取県、倉吉市、鳥取県統計協会の主催により、平成20年11月19日(水)、倉吉交流プラザ視聴覚ホール(倉吉市駄経寺町)で約100名の参加を得て盛大に開催しました。



賀山統計課長による挨拶

統計に功績のあった方や、団体に対する、各省大臣表彰、鳥取県知事表彰、鳥取県統計協会会長表彰等が厳かに行われました。

各省大臣表彰は、総務省統計局統計調査部国勢統計課企画官である河野好行氏により伝達され、また、鳥取県知事表彰等については、鳥取県企画部統計課賀山眞宜課長より授与されました。

受賞者を代表して、総務大臣表彰受賞者の柿本富美子調査員より謝辞が述べられました。

引き続き開催された統計セミナーでは、「最近の統計をめぐる動き」について、河野企画官より、また「守ろう自分の健康」と題して、鳥取産業体育館の岡本佳信館長より、それぞれ有意義なお話をうかがいました。



表彰状の授与



講演される河野企画官



ユーモアたっぷりにお話された岡本館長

全国統計協会連合会長表彰を受賞

河本久美子調査員(瀬梨浜町)

平成20年11月13日(木)、岡山シンフォニーホール(岡山市表町)において、第59回全国統計大会が開催されました。

永年にわたり各種統計調査に尽力された功績により全国統計協会連合会長表彰を受賞された河本調査員をはじめ、調査員や行政関係者の計7名が参加しました。



会場入り口にて(右から3人目が河本調査員)

おめでとうございます

総務大臣表彰

労働力調査

調査員 谷口 弘子 (鳥取市)

家計調査

調査員 柿本富美子 (北栄町)

平成19年就業構造基本調査

調査員 藤森 高善 (日南町)

平成19年全国物価統計調査

調査員 神田美由紀 (倉吉市)

各種統計調査

調査員 手島 功世 (境港市)

調査員 清水 光代 (北栄町)

厚生労働大臣表彰

労働統計関係

事業所 大宝関西株式会社
鳥取工場 (鳥取市)

事業所 安泰アパレル株式会社
(伯耆町)

事業所 日立金属株式会社
鳥取工場 (鳥取市)

事業所 倉吉グンゼ株式会社
(倉吉市)

事業所 KB フクスケ株式会社
鳥取工場 (琴浦町)

調査員 角田八壽子 (米子市)

経済産業大臣表彰

構造統計

調査員 倉員八重子 (鳥取市)

調査員 山口登喜子 (北栄町)

鳥取県知事表彰

鳥取県鉱工業生産動態調査

事業所 鳥取缶詰株式会社
(境港市)

永年従事調査員

調査員 田中あい子 (鳥取市)

調査員 塚田美登里 (日吉津村)

調査員 木原 睦子 (八頭町)

調査員 小徳 牧 (境港市)

調査員 麻本 佳江 (鳥取市)

鳥取県統計協会会長表彰

鳥取県鉱工業生産動態調査

事業所 高石工業株式会社
鳥取工場 (鳥取市)

統計調査員功績者

調査員 岡田 都 (米子市)

調査員 戸田 勝也 (鳥取市)

調査員 栗原 雅史 (倉吉市)

調査員 今岡 章代 (米子市)

全国統計協会連合会長表彰

統計調査員功績者

調査員 宮本 管子 (倉吉市)

調査員 岸本 義登 (鳥取市)

経済産業省感謝状

経済産業省所管統計調査

調査員 太田 容子 (鳥取市)

調査員 戸田 輝子 (鳥取市)

調査員 岸本 康代 (鳥取市)

調査員 小泉 雅子 (鳥取市)

調査員 網尾 徳子 (鳥取市)

調査員 由谷 節子 (鳥取市)

調査員 岸本 義登 (鳥取市)

調査員 平野 嘉子 (鳥取市)

調査員 松山 定次 (米子市)

調査員 近藤由美子 (米子市)

調査員 坂田千恵子 (米子市)

調査員 三好 久恵 (米子市)

調査員 田中 美子 (米子市)

調査員 林原 照美 (米子市)

調査員 三柳 二郎 (米子市)

調査員 樋野 信子 (米子市)

調査員 河本 容子 (倉吉市)

調査員 宮本 管子 (倉吉市)

調査員 門永 紀子 (境港市)

調査員 車井千代美 (若桜町)

調査員 大石 文子 (若桜町)

調査員 春摘 智子 (智頭町)

調査員 大原 孝子 (智頭町)

調査員 伊藤 景子 (湯梨浜町)

調査員 杉村 倫子 (湯梨浜町)

調査員 浦野 良子 (琴浦町)

調査員 遠藤 正子 (琴浦町)

調査員 喜美田美佐子 (伯耆町)

調査員 高津 孝司 (江府町)

(敬称略、順不同)

平成20年春の栄典

2名の方に栄典が授与

瑞宝単光章



清水 鈴子調査員(鳥取市)

平成20年春の叙勲受章の栄誉を賜り、この上なく感激しております。

受章者代表という大役を務めさせていただいた5月9日の東京での伝達式の素晴らしい1日が、今も、しっかりと脳裏に焼き付いております。生涯忘れることはありません。

身に余るこの栄誉は、長年にわたりお世話になりました事業所、並びにその担当者の方々の御協力と、県及び市の関係者のたくさんの方々のご指導のたまものでございます。

心から感謝申し上げます。

このような大きな章を受章し、改めて感じていることは、この栄誉に恥じることはないよう、今後もますます謙虚な気持ちで行動していかなければならないということです。

感謝の気持ちを忘れることなく、心身を充実させて、微力ではありますが、統計調査員として、まだまだ頑張りたいと思っておりますので、ご指導いただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

藍綬褒章



大道 悦子調査員(境港市)

この度、はからずも藍綬褒章の榮に浴し、身に余る光榮に感激しております。

都合により東京に於いての授章式に出席できませんでしたが、5月19日に鳥取県西部総合事務所において褒章の伝達をいただきました。

人生最大の慶びと感激の極みでございました。

これもひとえに、多忙な時期にも拘わらず、調査を毎回快く引き受けていただく事業所の皆様をはじめ、多くの方々の長年にわたる心温かいご指導・ご支援の賜と深く感謝申し上げます。今後とも、この榮に恥じる事なきよう一層精進し、統計調査が国の基本政策を進める上での重要な資料づくりに役立つよう全力を尽くす所存でございます。何卒従前と変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

こんにちは

鳥取県統計調査員会です

鳥取県統計調査員会 会長 こ ぼに 小谷 くに こ 邦子

平成20年4月の総会において、長年、統計調査員会の発展にご尽力された平野会長の後を受け、会長を引き継ぐこととなりました。

まだ、1年目ということで、戸惑うことばかりですが、県や市の職員の方々、統計調査員の方々の助けにより、少しずつその任を果たさせていただいています。

統計調査を取り巻く環境は、年々悪くなっています。本来、統計は社会を支える基盤となっていて、調査の結果は、私たち国民に広く活用されています。しかし、そのことがなかなかご理解いただけない方々には、私たち調査員が、誠意をもって協力をお願いを続けています。

よりよい調査を行うため、この会が充分機能していけるよう努力してまいりたいと思っています。ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、皆様のご支援ご協力よろしくお願ひします。

・鳥取県統計調査員会はどんな会？

統計調査員の資質向上と統計調査員相互の親睦等を目的に、平成10年1月に54名の会員で発足、現在は184名になりました。

・活動はどんなことを？

資質向上のための研修会の開催
統計普及活動（統計パネルの展示やイベントでの統計PR活動など）
会員相互の親睦 などです

・会員になるには？

市町村に調査員として登録されている方であればどなたでも入会できます。
(入会ご希望の方は、県統計課までご相談ください)



平成17年国勢調査における広報活動



研修風景

統計パネル展示を終えて

鳥取県統計調査員会 副会長 やまね 山根 ひろこ 啓子 (米子市)

平成20年12月6日(日)、米子市文化ホールで開催された「米子市公民館ふれあい発表会」に便乗する形で、同会場内に統計パネルの展示を行いました。

運営は、西部地域に在住する会員5名で担当しましたが、当日は大変な冷え込みで、突風や舞い込む雪に悩まされました。しかし、熱心に観賞してくださる方、資料の配布をして声をかければ、笑顔で対応してくださる方々に接し、寒さを吹っ飛ばす心温まる思いでした。大変寒い中の活動でしたが、これが、今後の調査活動への認識を深め、協力の架け橋となることと思います。

本格的な人口減少社会の到来を迎え、少子高齢化の進展（人口構造の変化）や団塊世代の定年に伴う労働力不足（減少）により経済社会の持続的発展への影響が懸念されており、女性や高齢者の就業支援や労働力確保などが課題となっています。

そこで総務省統計局では、特に若年層の女性と定年層（※1）の就業状況について、平成19年就業構造基本調査の結果を中心に取りまとめました。

※1 ここでは、15～39歳の女性と、60歳以上の人について取りまとめています。

1 若年層の女性の就業状況

有業者は一貫して増加、25～34歳で有業率が大幅に上昇

15～39歳女性の就業状態の推移をみると、有業者は昭和57年の1089万8千人から平成19年には1169万2千人と一貫して増加を続けており、有業率（15～39歳人口に占める有業者の割合）は昭和57年の50%弱から平成19年にはほぼ60%へと大きく上昇しています。（図1）

15～39歳女性の有業率について平成19年と14年を比べると、20歳以上ではいずれの年齢階級においても女性全体の有業率の上昇（0.9ポイント）を上回っています。

特に「25～29歳」（4.8ポイント上昇）と「30～34歳」（6.7ポイント上昇）では、生産年齢人口（15～64歳）の有業率の上昇（3.2ポイント）を大きく上回る上昇となっています。（図2）

図1 有業者数及び無業者数の推移（15～39歳女性）
—昭和57年～平成19年—

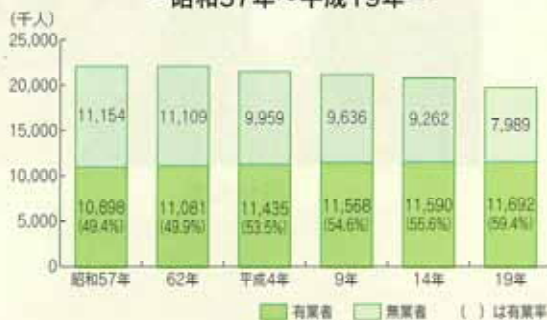


図2 年齢階級別有業率（15～39歳女性）
—平成14年、19年—



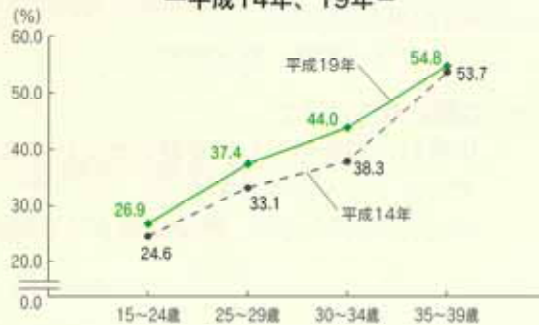
25～34歳で子供を持つ女性の有業率が大幅に上昇

「夫婦と子供のいる世帯」（※2）のうち妻の年齢が15～39歳の世帯（563万3千世帯）について、妻の有業率をみると、年齢が高くなるにつれて有業率も高くなり、「35～39歳」では54.8%と過半数を上回っています。

平成14年と比べると、まだ子供が幼いとみられる「25～29歳」で4.3ポイント、「30～34歳」で5.7ポイント上昇しており、この2つの年齢階級の女性の上昇（図2参照）よりは多少低いものの、共に大きな上昇となっています。（図3）

※2 ここで「夫婦と子供のいる世帯」とは、「夫婦と子供から成る世帯」、「夫婦、子供と両親から成る世帯」及び「夫婦、子供とひとり親から成る世帯」をいいます。

図3 妻の年齢階級別有業率（夫婦と子供のいる世帯）
—平成14年、19年—



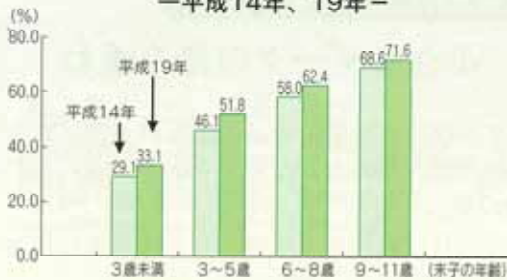
育児や子育てをしながら働く女性の割合が上昇

「夫婦と子供のいる世帯」で妻の年齢が15～39歳の世帯のうち、末子が12歳未満である世帯（542万4千世帯）について、末子の年齢階級別に妻の有業率をみると、末子が「3歳未満」の3割強（33.1%）から「9～11歳」では7割強（71.6%）となっており、子供が成長するにつれて子育ての負担が軽減され、女性の仕事への復帰が進んでいることがうかがわれます。

平成14年と比べると、有業率は末子のいずれの年齢階級においても上昇しています。

「3歳未満」では4.0ポイント上昇、「3～5歳」では5.7ポイント上昇などとなっており、末就学の子供のいる世帯でも、育児や子育てをしながら働く女性の割合が高くなっています。（図4）

図4 末子の年齢階級別15～39歳の妻の有業率
(夫婦と子供のいる世帯)
—平成14年、19年—



2 定年層の就業状況

60～64歳の有業率が男女とも大幅に上昇

60歳以上の就業状態の推移をみると、有業者は昭和57年の556万7千人から平成19年には1104万1千人と増加を続けているものの、60歳以上人口の増加により有業率は3割強にとどまっています。

(図5)

年齢階級別に就業者をみると、男女とも「60～64歳」が最も高く、男性は73.0%、女性は43.5%となっています。

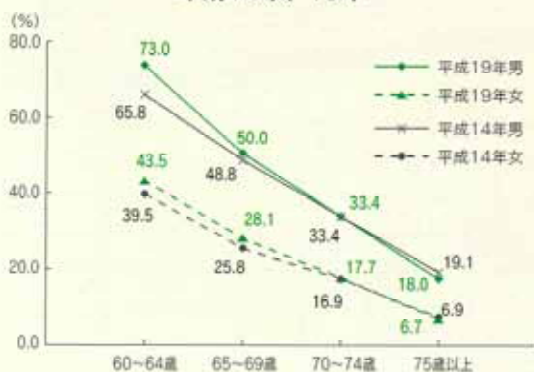
平成14年と比べると、「60～64歳」の男性は7.2ポイント、女性は4.0ポイントの上昇となっており、男女とも生産年齢人口（15～64歳）の有業率の上昇（男性が1.8ポイント、女性が3.2ポイント）を上回る上昇となっています。

(図6)

図5 有業者数及び無業者数の推移（60歳以上）
—昭和57年～平成19年—



図6 年齢階級別有業率（60歳以上）
—平成14年、19年—



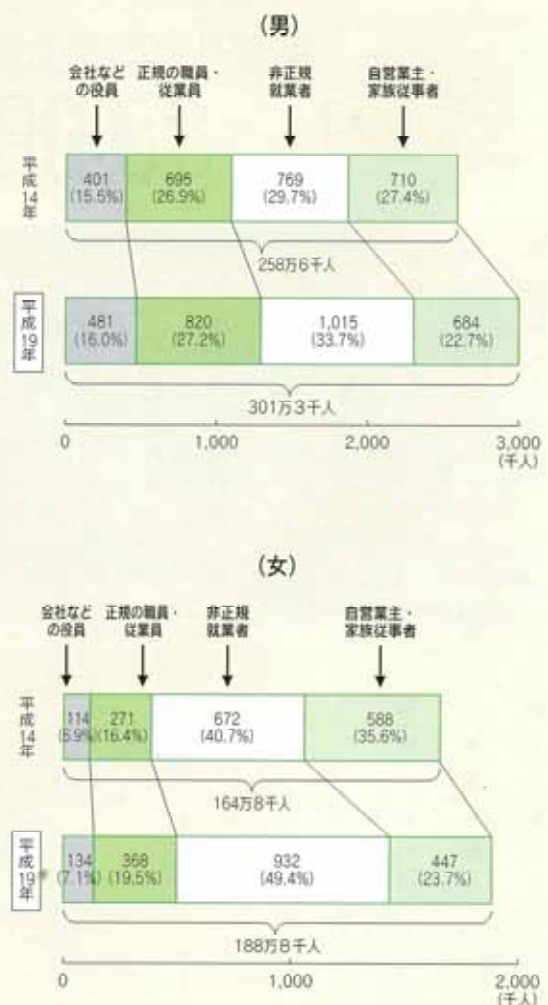
60～64歳の非正規就業者は人数、割合とも大幅に増加、上昇

60～64歳の有業者について従業上の地位・雇用形態別にみると、男女とも「非正規就業者」が最も多く、男性は101万5千人（男性有業者に占める割合33.7%）、女性は93万2千人（女性有業者に占める割合49.4%）となっています。

平成14年と比べると、「非正規就業者」は男性が24万7千人、女性が26万1千人増加、また、有業者に占める割合は男性が4.0ポイント、女性が8.7ポイント上昇しており、「非正規就業者」は男女共に人数、割合とも大きく増加、上昇しています。

(図7)

図7 男女、従業上の地位、雇用形態別有業者数
(60～64歳)
—平成14年、19年—



平成20年度 統計の日ポスター標語に 佳作入選

しみず ひでこ
清水 秀子調査員(米子市)



入選された清水調査員の標語

国づくり 小さなデータの積み重ね

統計の日のポスター標語は特選1点、入選5点が選ばれますが、今年、全国の統計調査員の方々などから応募のあったのは3,298作品(総務省の発表)とのことです。

清水調査員は7月31日に総務省で開催された表彰式に出席され表彰を受けられました。

この標語募集は、例年1月から3月ごろに行われます。ふるってご応募ください。(応募用紙は市町村で入手いただけます。)

入選披露を行った統計功労者表彰式での清水調査員

よろしく
お願いします

平成21年度に実施される

統計調査(調査員調査)の一覧

(平成21年4月1日現在)

調査名	市町村委託分							県直接調査分									
	平成21年全国消費実態調査	平成21年経済センサス―基礎調査	平成23年経済センサス―活動調査 第2次試験調査	平成22年国勢調査第3次試験調査	平成22年国勢調査調査区設定	工業統計調査	2010年世界農林業センサス	家計調査	小売物価統計調査	労働力調査	個人企業経済調査	毎月勤労統計調査(第2種)	毎月勤労統計調査(特別調査)	生産動態統計調査	商業動態統計調査	特定サービス産業実態調査	鉱工業生産動態調査
市町村																	
鳥取市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米子市	○	○			○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○
倉吉市	○	○			○	○	○			○		○	○	○	○	○	○
境港市	○	○			○	○	○			○		○	○	○	○	○	○
岩美町	○	○			○	○	○		○			○					
若桜町	○	○			○	○	○					○					
智頭町		○			○	○	○			○		○					
八頭町	○	○			○	○	○			○							
三朝町		○			○	○	○			○							
湯梨浜町	○	○			○	○	○					○	○				
琴浦町	○	○			○	○	○			○		○	○				
北栄町		○			○	○	○	○								○	
日吉津村		○			○	○	○										
大山町	○	○			○	○	○					○					
南部町	○	○			○	○	○			○		○					
伯耆町	○	○			○	○	○					○					
日南町		○			○	○	○			○		○					
日野町		○			○	○	○										
江府町	○	○			○	○	○			○			○				

注) ○印は対象市町村を示す。